

発 言 通 告 書

発言者氏名	堀りょういち
発言の会議	令和4年 6月 8日 本会議
発言の種類	質 疑、 <u>一般質問</u> 、緊急質問、討 論、その他
質疑等の方式	一 括、 <u>一問一答</u>
答弁を求める者	市 長、教育長

【件名及び発言の要旨】

1 暮らしの悩みや困り事への一体的な支援の実現について

- (1) 福祉における一体的な支援の重要性について
- (2) 総合相談窓口「ほっとかん」への窓口機能の一本化による真のワンストップサービス実現について
- (3) 福祉サービス情報の発信について
 - ア 福祉サービス一覧表を含む市ホームページ等の改修による検索性の向上について
 - イ 必要な福祉サービス情報をインターネット検索上位に表示させる仕組みの導入について
- (4) 福祉分野を横断する事業を専任で担う体制の構築について

2 市立小中学生の不登校対策について

- (1) 本市の不登校児童生徒数の増加傾向及び国・県よりも出現率が高い現状について
- (2) 学びの機会の確保について

- ア 支援を望む全ての不登校児童生徒が何らかの学びの機会を得られるよう、教室以外の場での学びの機会を充実させる必要性について
 - イ ICTを活用した不登校児童生徒のための個別最適な学習の実現について
 - ウ 相談教室の増設や学校内での学びの場のさらなる確保について
 - エ フリースクール等の授業料等の助成により、子どもたちの学びの機会やその多様性を広げることについて
- (3) 保護者への支援のために、保護者が気軽に支援情報を入手し、専門的な相談ができる機会を創出することについて